

「東京都中学校体操競技新人大会」

感染症予防のために

2020.11.22/23 実施

東京都中体連体操部

1.初めに

東京都の感染者増が心配をされておりますが我々役員一同、大会を開催できることを願い諸々の準備を進めております。万全を期してとは考えておりますが、役員とはいえ我々はプロのイベントコンサルタントではなく中学校教諭です。担当教科の授業をし、校務分署の仕事をこなし、担任としてまた顧問として生徒と関わり、日々の激務をなんとかこなしているというのが現状です。そのような中、感染者が出た際の影響の大きさは長い休校期間を経て身にしみ感じております。感染症のリスクを負ったうえで、また選手たちの練習不足による事故やけがのリスクを負ったうえで大会を実施することが本当に教育的であるのか日々自問自答しております。万が一何か起きた際には我々だけでその責任を負いきれるものではありません。選手はもちろん、顧問、監督、保護者、学校といった大会を取り巻く人たちの協力と理解があって何とか大会運営が成り立ちそうだというギリギリのところであると認識してください。例年と同じような大会の実施は不可能であるのです。この実施要項にはたくさんのお願いと確認事項が載っています。どうか熟読の上「感染者を一人として出すわけにはいかない」という決意を我々と共有してください。よろしくお願いいたします。

2.「都中体連主催事業再開に当たっての基本的考え方」

東京都のイベント開催や教育活動の方針（「新型コロナウイルス感染症対策と学校運営に関するガイドライン」等）に基づいて、部活動が学校教育の一環であることを踏まえ、以下の条件等が整い感染防止策を徹底することを開催の条件とします。

- ① 東京都において、緊急事態宣言が解除されている。
- ② 学校教育活動が実施されている。
- ③ 部活動が実施されていて、生徒の健康と安全が確保できる。
- ④ 大会は当面の間、無観客の開催とする。
- ⑤ 参加生徒及び保護者、所属校校長の内諾を得ることを要件とする。

以上の観点から今大会では特に以下の対応をお願いします。

- ③⇒ 器械体操では十分な習得をしていない技を無理に実施することで、大きなけがにつながる危険性があると考えられます。部活が実施されていても大会に参加することが本当に適当であるか、選手はもちろん（選手は多少無理をしてでも参加したいと考えることが想定されます）指導者として顧問の判断も必要となります。慎重に判断したうえで申し込みをしてください。
- ④⇒ 無観客での実施はもちろん、大会会場への入場も可能な限り少数人数が望ましいと考えています。入場できるのは、選手、監督、外部指導者、とします。
- ⑤⇒ 令和2年度東京都中学校体育連盟が示した「同意書」（別紙）を所属校校長へ提出をお願いします。

3. 大会開催時の感染防止策について

(1)全般的な事項

- ① 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示する
- ② 各事項が遵守徹底されているか会場内を定期的に巡回・確認する
- ③ 大会に参加する全ての者（選手・顧問・役員等会場内に入る者：以下参加者と表記）はマスクを着用するが、熱中症のリスクを考慮し状況に応じてはマスクをはずす

- ④ 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日の全参加者を把握するとともに、記録し、保存期間（一ヶ月以上）を定めて保存しておく
- ⑤ 大会後の参加者の新型コロナウイルス感染に備え、当日の参加者へ直ちに連絡できる体制を整えておく

以上の観点から今大会では特に以下の対応を致します。

- ①⇒ 大会本部にチェックリストを掲示します。「感染拡大予防チェックリスト」参照
- ②⇒ 大会役員が定期的に巡回・確認します。
- ③⇒ 審判席には、感染防止のためのアクリル板を設置します。
- ④⇒ 各学校提出の「体調記録表」及び「学校同行者体調記録表」・「来場者体調記録表」を学校ごとでまとめて保存します。

(2)大会参加校が遵守する事項

この内容は、主催者が大会申込時に周知し、引率責任者が指導を徹底すること。

- ① 大会参加に当たっては、当面の間、生徒・保護者・所属校校長から同意書を得る
- ② 当日の参加者の氏名・連絡先・体調を記録し、大会後の感染発生時に備えて一ヶ月程度保管している
- ③ 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加校の責任において当該生徒の参加を見合わせる
 - ア 体調がよくない場合
(例:平熱を超える発熱・咳・咽頭痛・強いだるさ・息苦しさ・味覚嗅覚の異常などの症状がある場合)
 - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ウ 濃厚接触者である場合
 - エ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ④ マスクは参加者が持参し、使用後は全てのゴミとともにビニール袋に入れて持ち帰る
(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する)
- ⑤ 消毒用アルコールは参加校が用意し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
手拭き用のタオル等は各自持参させる
- ⑥ 他の参加者や役員等との距離（できるだけ2 m以上）を確保する
- ⑦ 大会中に大きな声で会話、応援等をしない
- ⑧ 競技前後のミーティング等においても、三つの密を避ける
- ⑨ 感染防止のために主催者が決めた措置を遵守し、主催者の指示に従う
- ⑩ 参加者が大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに報告する
- ⑪ 当面の間、無観客で開催するため当日の入場に制限があることを保護者等に周知・徹底する
- ⑫ 会場への移動等は参加校が責任をもって集団感染のリスク（3密の条件）を避ける

(3)大会会場で準備すべき事項

① 会場出入り口や受付場所等

- ア アルコール等の手指消毒剤を用意する
- イ 受付時の会話は最小限とし、必ずマスクを着用する

② 手洗い場所

- ア 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する
- イ 「手洗いは20秒以上」の指示を生徒に対し、引率責任者にさせる
- ウ 参加者には、手洗い後に手を拭くためのマイタオルを用意させる

③ 更衣室、休憩・待機スペース

- ア 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける
- イ ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる
- ウ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒する
- エ 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮する
- オ 使用する際は、入退室の前後に手洗いをさせる

④ 洗面所

- ア トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する
- イ トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する
- ウ 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する
- エ 「手洗いは20秒以上」等の実施を励行する
- オ 参加者には、手洗い後に手を拭くためのマイタオルを用意させる

⑤ 飲食

- ア 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける
- イ 役員・選手とも、飲食場所は広さにはゆとりを持たせ、他の者と密になることを避ける
- ウ 大会中の飲食は必要最低限にとどめ、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにする
- エ 選手の飲食は、参加校の責任において飲食させるとともに、ゴミはすべて持ち帰らせる

⑥ 会場

- ア 大会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う
- イ 換気設備を適切に運転する
- ウ 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行う
- エ 怪我人の処置室とは別に体調不良者用の待機場所を設置する

⑦ ゴミの廃棄

- ア ゴミは持ち帰りを原則とするが、鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴ

ミを回収する時は、マスクや手袋を着用する

イ マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒する

(4)大会運営上の留意点

① 十分な距離の確保

ア 感染予防の観点から、更衣や準備運動等においては、周囲の人となるべく距離を空ける

イ 強度が高い準備運動等の場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空ける

ウ マスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をする必要がある

(感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である)

② 運動中に、唾や痰をはくことは極力行わない

③ タオルの共用はしない

④ 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめに
する

⑤ 飲みきれなかったスポーツドリンク等を捨てない

⑥ 競技中使用した用具は、適宜消毒する

※体操器具は消毒が出来ないため、各自演技前、演技後の手指消毒を徹底する

⑦ 生徒の補助役員については、感染防止の観点から可能な限り縮小し、やむをえず実施する場合は、生徒本人、保護者の同意書を得るとともに、所属校の校長から承諾を得る

⑧ 審判業務に関して

審判が使用する審判会議室、審判席付近には手指消毒用のアルコールスプレーを用意する

各班終了時には、大会役員が審判の机・タブレットを除菌シートで消毒する

⑨ その他

プログラムは事前にHPからダウンロードをする。

更衣室を使用する時は必ずマスクを着用し、会話は控えるようにする

感染予防として、選手へのプレゼント、差し入れ、祝花等の渡しは禁止

来場人数を縮小するため各学校出場選手(チームリーダー含む)、監督、外部指導者を基本的な限度人数とする

音楽については、監督・外部指導者、チームリーダーがかかる

閉会式、表彰は行わず、賞状等に関しては該当校に郵送する

応援は声を出さずに、拍手のみとする

競技後の選手との握手やタッチを行わないこととする

(5)参加者の中に感染が判明した場合の対応

① 大会前

- ア 感染者、濃厚接触者と特定され、大会当日に登校を許可されていない者の参加は認めない
- イ 団体競技においては、参加申込後の選手変更を認める
- ウ 個人競技においては、欠場とする

② 大会期間中

- ア 参加者は、必ず当日の朝、自宅で検温を行い、平熱であることを確認し会場に入る
- イ 特に生徒については、引率責任者が責任をもって体調を確認する
- ウ 大会中に発熱等の症状を訴える者を確認した場合は、保護者に連絡し帰宅させる

③ 大会後

- ア 感染者の所属する学校や行政機関の指示に従う
- イ 当該校顧問は速やかに主催者（専門部）に報告する
- ウ 当該の専門部は、感染者が参加した大会当日に会場内にいたすべての学校と役員等に連絡する
- エ 危機管理マニュアルに従って速やかに事故報告書を作成し、中体連事務局に報告する

11月22日（日）中学校男子について

- ・会場には、学校ごとにまとまって入場すること
 - 引率責任者の元、全員揃った状態で入場すること
 - 入場時に検温をし、「体調記録表」及び「学校同行者体調記録表」・「来場者体調記録表」の提出すること
- ※入場できるのは、
 - 選手（チームリーダー含む）、監督、引率責任者、外部指導者、選手一人に対して保護者1名とする
- ・更衣室を利用した着替えを避けるため、ジャージ等の動ける服装で来ること
- ・手指消毒用のアルコール等は各学校で準備すること
 - 入場時には消毒必須。各自こまめに消毒をすること
- ・更衣室は各校割り振られた時間内で利用すること
 - 更衣室利用時間短縮の為、簡単な着替えで済むように工夫すること
 - トイレや会場内での着替えはやめること
- ・練習、試合時以外はマスク着用
 - 熱中症対策の為、密が避けられる場所では着用しなくても良い
 - 各校監督が判断すること
- ・滑り止め用の炭酸マグネシウム・霧吹きは各学校で用意すること
- ・飲食をする際は、監督が必ず立ち会うこと
 - 飲食中の会話や、飲食物の共有は要注意
- ・ゴミは必ず持ち帰ること
- ・引率責任者は、引率した生徒が全員退館したことを確認してから退館すること

11月23日(月)大会・カッティングについて

- ・会場には、学校ごとにまとまって入場すること
 - 引率責任者の元、全員揃った状態で入場すること
 - 入場時に検温をし、「体調記録表」及び「学校同行者体調記録表」・「来場者体調記録表」の提出をすること
- ※入場できるのは、
 - 選手(チームリーダー含む)、監督、引率責任者、外部指導者、選手一人に対して保護者1名とする
- ・更衣室は各校割り振られた時間内で利用すること
 - 更衣室利用時間短縮の為、簡単な着替えで済むように工夫すること
 - トイレや会場内での着替えはやめること
- ・手指消毒用のアルコール等は各学校で準備すること
 - 入場時には消毒必須
 - 器具の消毒ができない為、各自こまめに消毒をすること
- ・練習、試合時以外はマスク着用
 - 熱中症対策の為、密が避けられる場所では着用しなくても良い
 - 各校監督が判断すること
- ・滑り止め用の炭酸マグネシウム・霧吹きは各学校で用意すること
- ・飲食をする際は、監督が必ず立ち会うこと
 - 飲食中の会話や、飲食物の共有は要注意
- ・ゴミは必ず持ち帰ること
- ・引率責任者は、自校の生徒が全員退館したことを確認してから退館すること